

青森市中期財政計画

(H26.10月計画)

H27当初予算編成

試算条件修正項目

前回試算（H26.8月試算）からの修正項目

項 目	内 容
H26補正予算反映	補正予算の影響を反映 ・ H26.9月補正その2（青森駅周辺整備事業） ・ H26.9月補正その3（災害復旧）
33人学級 小学校4年生へ拡大	学級編制については、国・県の学級編制基準等に基づき教員が配置されているが、現行の学級編制基準では小学校3・4・5学年進級時にクラス替えを行う必要があり、学校教育活動等に支障が生じているケースもある。 本市独自の取組として、平成27年度から、小学校4学年における33人学級編制の実施に向け検討を進めている。（H27.4月からの実施に向けては、事前手続き等が必要であるが、財政計画上は、その必要額を確保） 影響額（人件費） H27:22百万円、H28:58百万円、H29:38百万円、 H30:30百万円、 H31:22百万円

消費税については引き上げ（8% 10%）により財政計画に影響を及ぼすことになるが、地方財政対策の内容が現段階で不明のため、試算に反映しない。

(参考)

試算条件

(歳入)

市 税	<ul style="list-style-type: none">法人市民税 地方法人税(2.6%)創設に伴い、H26.10月以降に開始する事業年度の法人 現行 標準税率 12.3% 改正後 9.7% 制限税率 14.7% 12.1%の影響を反映(引き続き制限税率を適用)軽自動車税 増税分(H27~1.25倍~1.5倍等)の影響を反映固定資産税 評価替に伴う影響を反映その他税目 H26年度当初予算額と同額
譲与税・交付金	<ul style="list-style-type: none">地方消費税交付金 1% 1.7%の影響を反映自動車取得税交付金 H26減税分をH26当初予算額に反映済み ただし、消費税10%へ引上げ時は廃止となるが加味していないその他 H26年度当初予算額と同額
地方交付税	<ul style="list-style-type: none">H26普通交付税本算定額を反映H25錯誤の影響を反映H28以降は、合併特例による合併前全額保障期間終了に伴う影響を普通交付税に反映
国・県支出金	<ul style="list-style-type: none">歳出連動
市 債	<ul style="list-style-type: none">歳出連動臨時財政対策債は、普通交付税と同様の試算方法退職手当債は、H27で制度終了(H26~27は定員管理計画を参考に積算)
その他	<ul style="list-style-type: none">貸付金元利収入は予定額を計上競輪事業特別会計からの繰入金は100百万円/年で定額計上(~H30) ただし、H28以降の繰入金は、スタンド等耐震診断の結果等を踏まえ次期財政計画策定時に見直し地域振興基金は活用可能額の繰入を見込むその他歳出連動を除き定額試算

(参考)

試算条件

(歳出)

人件費	<ul style="list-style-type: none">・職員数は定員管理計画を参考に試算し、技能労務職退職不補充を反映・定昇率0.3%で試算・退職手当は、H26～27にかけての段階的引下げ影響分を反映・市長・副市長、区長、公営企業管理者、教育長、代表監査委員は自主削減をH28まで継続・議員報酬等は、H26.11.25まで 10%を反映
扶助費	<ul style="list-style-type: none">・基本として、H26年度当初予算額に過去の増減率を乗じた上で、将来人口推計（中位人口推計）の増減率を反映して試算
公債費	<ul style="list-style-type: none">・元利償還金は、積上げ試算・一時借入金は、定額試算
普通建設事業費	<ul style="list-style-type: none">・着手済み事業は、現在の計画期間・計画額で計上・経常的事業は、H26年度当初予算額と同額試算
繰出金	<ul style="list-style-type: none">・各会計の試算方法は、一般会計と同様・特別会計繰出金のほか、企業への繰出金や一部事務組合への負担金も含む
その他	<ul style="list-style-type: none">・年度間で変動があるものを除き、H26年度当初予算額と同額・余剰ごみ処理費用、アウガ再生支援、橋梁長寿命化修繕費用等を反映

(その他)

一般財源抑制額	H27は39百万円/年の一般財源抑制を試算に反映
---------	--------------------------

試算に反映されている主な大規模プロジェクト等

○中期財政見通しに反映されている主な事業

プロジェクト名	(単位：億円)				事業期間 (財政計画期間)	摘要
	事業費	国県他	市債	一般財源		
合併特例債事業(浪岡地区4事業)	60.0	11.3	45.3	3.4	H23～H27	うち特例債45.1億円
新ごみ処理施設整備事業	132.8	42.3	77.6	12.9	H23～H26	
市営住宅整備事業(幸畑第二・小柳第一団地)	30.4	15.0	15.0	0.4	H23～H27	
八甲田丸関連	6.8		5.3	1.5	H24～H27	
小・中学校整備事業 (横内小・金沢小・小柳小・東中・筒井中)	56.3	22.8	22.6	10.9	H23～H27	地域の元気臨時交付金充当
清掃工場解体費(三内・梨の木(除染のみ))	7.8			7.8	H23～H27	
総合交通戦略(フィーダー関連)	4.5	0.7		3.8	H23～H27	
医療費助成(現物支給化影響)	2.0	0.6		1.4	H25～H27	
情報システム開発費(H27稼働)	26.9			26.9	H24～H26	
支所再整備事業 (横内、後潟、原別、浜館、奥内)	3.4 (4.0)	2.6 (2.6)	0.5 (1.0)	0.3 (0.4)	H25～H27 (H25～H29)	地域の元気臨時交付金充当
庁舎整備事業(第一期分)	99.6	9.4	74.1	16.1	H24～H32	
国保法定外繰出(ペナルティ分+激変緩和分)	15.1			15.1	H25～H27	
浪岡最終処分場適正廃止対策	5.5 (23.0)			5.5 (23.0)	H26～H27 (H26～H31)	想定処理費1,474～2,902百万円の間接値を計上
橋梁長寿命化修繕事業	6.5 (29.8)	3.6 (16.4)	2.6 (12.1)	0.3 (1.3)	H26～H27 (H26～H31)	事業期間～H36見込
青森駅周辺まちづくり関連事業	81.7	36.5	40.5	4.7	H26～H31	

○財政見通しに含まれていない主な事業

・操車場跡地利用促進事業

【青森操車場跡地利用計画審議会の答申を踏まえ、現在検討中】

青森市財政プラン2011における目標

青森市財政プラン2011に掲げる3つの目標

単年度収支の均衡

- ・中期財政計画期間中に単年度収支の黒字化を図る。

財源調整のための基金の一定額確保

- ・3基金残高50億円の確保を維持し、更に現計画期間終了後も持続可能な財政運営となるよう、H28以降の庁舎整備に要する一般財源を現計画期間中に確保する。
【H27末基金残高目標：65.1億円（6,509百万円）】

将来負担に配慮した市債発行と公債費償還の適正化

- ・プライマリーバランスの黒字(臨時財政対策債除く)を維持し、市債残高の減を図る。

庁舎整備事業(第一期分)の内容(H26.8月試算)

(単位：百万円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計
事業費	11		39	191	453	1,849	4,030	2,447	938	9,958
国・県支出金			7	26	21	178	444	266		942
市債			10	101	377	1,540	3,066	1,612	704	7,410
うち通常債			10	101	377	179	1,265	1,612	704	4,248
うち特例債						1,361	1,801			3,162
一般財源	11		22	64	55	131	520	569	234	1,606

1,509百万円

(単位：百万円)

端数処理による積上げのため計
と一致しない

青森市中期財政見通し（平成26年10月試算）

区 分		財政計画期間				財政計画期間外				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
歳 入	市税	35,411	35,812	34,515	33,803	33,995	34,045	33,491	33,537	
	譲与税・交付金	4,469	4,518	4,699	6,681	6,430	6,430	6,430	6,000	
	地方交付税	30,863	28,512	27,744	27,992	27,682	27,560	27,437	27,314	
	国・県支出金	28,783	36,324	32,136	30,453	31,030	32,277	35,511	33,746	
	市債	10,271	14,444	14,626	7,644	7,530	8,747	12,844	8,467	
	その他	9,467	8,208	8,769	7,176	7,367	7,109	6,763	7,127	
	歳入合計	119,264	127,818	122,489	113,749	114,034	116,168	122,476	116,191	
歳 出	義務的経費	66,296	66,768	68,030	67,131	67,916	68,120	68,376	69,676	
		人件費	13,006	12,910	13,313	12,225	11,775	11,492	11,232	11,195
		扶助費	36,580	36,732	37,393	38,161	39,201	40,431	41,896	43,651
		公債費	16,710	17,126	17,324	16,745	16,940	16,197	15,248	14,830
	普通建設事業費	9,422	18,416	16,974	7,537	7,006	8,874	15,019	8,091	
	繰出金	17,636	19,300	19,212	18,125	18,025	18,312	18,151	18,297	
		うち公営企業 ・準公営企業	4,632	4,632	4,659	4,396	4,237	4,140	3,917	3,928
	その他	23,998	22,015	25,818	22,828	22,431	22,422	22,514	22,623	
歳出合計	117,352	126,499	130,034	115,621	115,378	117,728	124,060	118,687		
収入確保と経費節減額				800	800	800	800	800	800	
シーリングによる歳出抑制					39	39	39	39	39	
単年度収支 A = - + +		1,912	1,319	6,745	1,033	505	721	745	1,657	
翌年度繰越金			1,591							
翌年度繰越財源			406							
前年度決算剰余金の1/2以上			800	800						
基金運用益			15	59						
基金残高（前年度末残高+A- - + +）		13,305	13,442	7,556	6,523	6,018	5,297	4,552	2,895	
	うち元気臨時交付金積立分		2,665	全額取崩し						
	その他	13,305	10,777	7,556	6,523	6,018	5,297	4,552	2,895	
市債残高		167,237	167,007	166,857	159,754	152,234	146,610	145,954	141,528	
うち臨時財政対策債		37,487	41,408	44,767	46,380	47,723	48,672	49,292	50,803	

(参考)

平成26年8月試算（青森駅周辺まちづくり関連事業含む）

（単位：百万円）

端数処理による積上げのため計と一致しない

区 分		財政計画期間				財政計画期間外				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
歳 入	市税	35,411	35,812	34,515	33,803	33,995	34,045	33,491	33,537	
	譲与税・交付金	4,469	4,518	4,699	6,681	6,430	6,430	6,430	6,000	
	地方交付税	30,863	28,512	27,744	27,992	27,682	27,560	27,437	27,314	
	国・県支出金	28,783	36,324	32,044	30,453	31,030	32,277	35,511	33,746	
	市債	10,271	14,444	14,571	7,644	7,530	8,747	12,844	8,467	
	その他	9,467	8,208	8,769	7,169	7,367	7,109	6,763	7,127	
	歳入合計	119,264	127,818	122,342	113,742	114,034	116,168	122,476	116,191	
歳 出	義務的経費	66,296	66,768	68,030	67,130	67,915	68,119	68,374	69,673	
		人件費	13,006	12,910	13,313	12,225	11,775	11,492	11,232	11,195
		扶助費	36,580	36,732	37,393	38,161	39,201	40,431	41,896	43,651
		公債費	16,710	17,126	17,324	16,744	16,939	16,196	15,246	14,827
	普通建設事業費	9,422	18,416	16,974	7,537	7,006	8,874	15,019	8,091	
	繰出金	17,636	19,300	19,212	18,125	18,025	18,312	18,151	18,297	
		うち公営企業 ・準公営企業	4,632	4,632	4,659	4,396	4,237	4,140	3,917	3,928
		その他	23,998	22,015	25,644	22,806	22,373	22,384	22,484	22,601
歳出合計	117,352	126,499	129,860	115,598	115,319	117,689	124,028	118,662		
収入確保と経費節減額				800	800	800	800	800	800	
シーリングによる歳出抑制					39	39	39	39	39	
単年度収支 A = - + +		1,912	1,319	6,718	1,017	446	682	713	1,632	
翌年度繰越金			1,591							
翌年度繰越財源			406							
前年度決算剰余金の1/2以上			800	800						
基金運用益			15	59						
基金残高（前年度末残高+A- - + +）		13,305	13,442	7,583	6,566	6,120	5,438	4,725	3,093	
	うち元気臨時交付金積立分		2,665	全額取崩し						
	その他	13,305	10,777	7,583	6,566	6,120	5,438	4,725	3,093	
市債残高		167,237	167,007	166,802	159,699	152,178	146,555	145,899	141,474	
うち臨時財政対策債		37,487	41,408	44,767	46,380	47,723	48,672	49,292	50,803	

(参考)

青森市中期財政計画（平成25年10月計画）

（単位：百万円）

端数処理による積上げのため計
と一致しない

区 分		財政計画期間				財政計画期間外		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
歳 入	市税	35,411	34,223	33,841	33,578	33,771	34,103	
	譲与税・交付金	4,469	4,260	4,381	4,635	4,386	4,386	
	地方交付税	30,863	27,395	27,642	27,890	27,558	27,388	
	国・県支出金	28,783	38,451	29,399	28,865	29,458	30,615	
	市債	10,271	14,868	13,539	9,352	10,841	11,047	
	その他	9,467	8,980	7,390	6,750	6,438	6,324	
	歳入合計	119,264	128,177	116,192	111,070	112,452	113,863	
歳 出	義務的経費	66,296	68,333	68,346	68,214	69,113	70,024	
		人件費	13,006	13,292	12,617	11,891	11,515	11,448
		扶助費	36,580	37,723	38,224	39,106	40,182	41,532
		公債費	16,710	17,318	17,505	17,217	17,416	17,044
	普通建設事業費	9,422	21,354	14,132	6,668	8,101	9,255	
	繰出金	17,636	19,066	19,315	17,720	17,672	17,688	
		うち公営企業 ・準公営企業	4,632	4,424	4,498	4,337	4,223	4,022
	その他	23,998	22,256	21,200	19,138	18,878	18,884	
歳出合計	117,352	131,009	122,993	111,740	113,764	115,851		
収入確保と経費節減額			800	800	800	800	800	
シーリングによる歳出抑制				39	78	78	78	
単年度収支 A = - + +		1,912	2,032	5,962	208	434	1,110	
基金残高		13,305	12,191	6,229	6,437	6,003	4,893	
	うち財政調整積立金	6,694	6,694	6,229	6,437	6,003	4,893	
	うち元気臨時交付金積立分		1,378	全額取崩し				
市債残高		167,237	167,304	165,693	159,671	155,830	152,512	
	うち臨時財政対策債	37,487	41,349	44,529	47,244	48,927	50,002	

H25.10月計画（目標）との比較

H25.10月 計画

(一般会計、単位:百万円)

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年度収支	3,717	3,147	1,912	2,032	5,962	208
3基金残高	9,611	12,471	13,305	12,191	6,229	6,437
市債残高	174,774	170,956	167,237	167,304	165,693	159,671
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,487	41,349	44,529	47,244

H26.10月
目標変更後 6,509百万円

3基金残高 目標(変更後)達成
(目標比+57百万円)

H26.8月 試算(前回) 青森駅周辺まちづくり関連事業含む

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	6,718	1,017
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,583	6,566
市債残高	174,774	170,956	167,237	167,007	166,802	159,699
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,487	41,408	44,767	46,380

H26.8月試算より43百万円減少

【主な変動要素】
9月補正追加分
大雨災害復旧費など
33人学級拡大

H26.10月 試算(今回)

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	6,745	1,033
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,556	6,523
市債残高	174,774	170,956	167,237	167,007	166,857	159,754
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,487	41,408	44,767	46,380

3基金残高 目標(変更後)達成
(目標比+14百万円)

比較

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年度収支	-	-	-	3,351	783	1,241
3基金残高	-	-	-	1,251	1,327	86
市債残高	-	-	-	297	1,164	83
うち臨時財政対策債	-	-	-	59	238	864

単年度収支の黒字化(H27)は未達成、
プライマリーバランスの黒字は達成

H25.10月計画（目標）との比較

H25.10月 予算編成前 計画

財政計画期間

財政計画期間外

(一般会計、単位:百万円)

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
単年度収支	3,717	3,147	1,912	2,032	5,962	208	434	1,110	-	-
3基金残高	9,611	12,471	13,305	12,191	6,229	6,437	6,003	4,893	-	-
市債残高	174,774	170,956	167,237	167,304	165,693	159,671	155,830	152,512	-	-
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,487	41,349	44,529	47,244	48,927	50,002	-	-

H26.8月 試算（青森駅周辺まちづくり関連事業含む）

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	6,718	1,017	446	682	713	1,632
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,583	6,566	6,120	5,438	4,725	3,093
市債残高	174,774	170,956	167,237	167,007	166,802	159,699	152,178	146,555	145,899	141,474
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,487	41,408	44,767	46,380	47,723	48,672	49,292	50,803

H26.10月 試算（今回）

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	6,745	1,033	505	721	745	1,657
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,556	6,523	6,018	5,297	4,552	2,895
市債残高	174,774	170,956	167,237	167,007	166,857	159,754	152,234	146,610	145,954	141,528
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,487	41,408	44,767	46,380	47,723	48,672	49,292	50,803

平成27年度予算編成の考え方

中期財政計画期間中は、「3基金を50億円程度確保する」という目標を維持し、また、現計画期間終了後も持続可能な財政運営となるよう、H28以降の庁舎整備に要する一般財源相当分15.1億円についても基金に確保する。

H27末の基金残高の目標：65.1億円（6,509百万円）



- ステップ1** マイナスシーリング（義務的経費を除く）の実施により、歳出を抑制
- ステップ2** 施策評価により優先度を決定し、ステップ1の歳出抑制分の一部及び優先度の低い施策の財源の一部を、優先度の高い施策へ配分（目標基金残高は確保）

予算編成イメージ（対象事業仕分け）

ステップ1 マイナスシーリング対象事業の仕分け

義務的経費		
人件費	特別職・職員給与費	所要額
公債費	市債償還金	所要額
義務的経費(A・B)	法律により実施義務がある及び債務負担行為に基づくもの	所要額
施設管理費	施設管理経費	シーリング対象
一般管理費	事務費	シーリング対象
積立金	基金への積立金	所要額
裁量的経費		
裁量的経費 A	準義務的事業	既存分所要額
裁量的経費 B	裁量的事業	シーリング対象
裁量的経費 C	裁量的事業で年次変動が大きい事業（トリエンナーレ等）	別途指定
投資的経費	普通建設事業、災害復旧事業（大規模プロジェクトを除く）	シーリング対象
喫緊課題対応経費	財政プラン計上（指定する事業）	別途指定
行革対応経費	行政改革プラン推進に要する経費	所要額
成長戦略枠	成長戦略の推進に資する事業に要する経費	—
繰出金等	特別会計・企業会計繰出金、広域事務組合負担金	上記に準ずる

予算編成イメージ（抑制額積算方法）

ステップ1 マイナスシーリングで抑制すべき歳出額

試算結果（H26.10月試算 P7参照）

（一般会計、単位：百万円）

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
歳入合計	119,520	119,264	127,818	122,489	113,749
歳出合計	116,373	117,352	126,499	130,034	115,621
収入確保と 経費節減額				800	800
A = - +	3,147	1,912	1,319	6,745	1,072
B マイナスシーリング（これまで必要とされていた歳出抑制額）					
H27取組分					39
マイナスシーリング実施後（A - B）					
単年度収支	3,147	1,912	1,319	6,745	1,033
3基金残高	12,471	13,305	13,442	7,556	6,523

基金残高目標6,509百万円に対し14百万円上回っている。

目標達成のために必要な歳出抑制額

（一般会計、単位：百万円）

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
歳入合計	119,520	119,264	127,818	122,489	113,749
歳出合計	116,373	117,352	126,499	130,034	115,621
収入確保と 経費節減額				800	800
A = - +	3,147	1,912	1,319	6,745	1,072
B マイナスシーリング（目標達成のために必要な歳出抑制額）					
H27取組分					25
マイナスシーリング実施後（A - B）					
単年度収支	3,147	1,912	1,319	6,745	1,047
3基金残高	12,471	13,305	13,442	7,556	6,509

基金残高目標6,509百万円を達成。

予算編成イメージ（抑制率）

ステップ1 シーリング対象事業の抑制率

目標達成のために必要な抑制額は25百万円であるが、優先度評価における重点施策等への配分財源確保のため、昨年同様のシーリング内容とする。

(単位:百万円)

項目	対象一般財源	抑制率	抑制額	(参考)消費税引き上げ影響反映		
				影響額	実質抑制額	実質抑制率
施設管理費	3,037	1%	30	28	58	1.9%
一般管理費	448	1%	5	4	9	1.9%
裁量的経費B	1,222	0%	0	4	4	0.3%
投資的経費(一般財源)	163	10%	16	1	17	10.8%
計	4,870	—	51	37	88	—

管理費は、コスト削減のため、昨年同様1%のマイナスシーリングとする

裁量的経費Bは、市民サービスに可能な限り影響を与えないため、昨年同様ゼロシーリングとする

投資的経費は、市債発行抑制の観点から、昨年同様10%のマイナスシーリングとする

消費税引き上げ分(8% 10%)を見込んで予算編成するが影響分は別扱いとしない。

一般会計繰出対象の特別会計等分を含む。

抑制額25百万円に加え、重点施策や成長戦略の取組に活用

(参考)

消費税引き上げ影響額（歳出）

節（細節）別影響額（事業費ベース） 一般会計のみ

（単位：千円）

節	節名	細節	細節名	消費税影響	予算額	消費税増税後	影響額
1	報酬				694,916	694,916	0
2	給料				5,961,462	5,961,462	0
3	職員手当等				4,602,620	4,602,620	0
4	共済費				2,218,268	2,218,268	0
5	災害補償費				154	154	0
6	恩給及退職年金				984	984	0
7	賃金				727,474	727,474	0
8	報償費			物件費のみ	151,363	151,513	150
9	旅費	1	費用弁償		40,608	40,984	376
		2	旅費		66,419	67,034	615
10	交際費				2,853	2,853	0
11	需用費	1	消耗品費		848,401	856,257	7,856
		2	燃料費		521,476	526,304	4,828
		3	一般食糧費		360	367	7
		4	食糧費		1,150,586	1,161,240	10,654
		5	印刷製本費		190,372	192,135	1,763
		6	維持修繕料		268,388	270,873	2,485
		7	一般修繕料		74,468	75,158	690
		8	光熱水費		1,243,740	1,255,256	11,516
12	役務費	1	通信運搬費		259,591	261,995	2,404
		2	保管料		0	0	0
		3	広告料		19,396	19,576	180
		4	手数料		201,913	203,783	1,870
		5	筆耕翻訳料		2,154	2,174	20
		6	保険料		44,076	44,484	408

節	節名	細節	細節名	消費税影響	予算額	消費税増税後	影響額
13	委託料				13,441,901	13,566,363	124,462
14	使用料及び賃借料				1,263,138	1,274,834	11,696
15	工事請負費				11,302,484	11,407,137	104,653
16	原材料費				58,678	59,221	543
17	公有財産購入費				276,731	279,293	2,562
18	備品購入費				394,619	398,273	3,654
19	負担金補助金及び交付金	1	負担金		11,753,528	11,753,528	0
		2	補助金		4,624,489	4,624,489	0
		3	交付金		784,826	784,826	0
20	扶助費				35,065,429	35,065,429	0
21	貸付金				742,148	742,148	0
22	補償補填金及び賠償金	1	補償金		316,754	319,687	2,933
		2	補填金		0	0	0
		3	賠償金		0	0	0
23	償還金利息及び割引料	1	償還金		16,432,053	16,432,053	0
		2	利息及び割引料		2,547,446	2,547,446	0
		3	小切手支払未済償還金		1	1	0
		4	還付加算金		4,550	4,550	0
24	投資及び貸付金				880	880	0
25	積立金				75,702	75,702	0
26	寄附金				0	0	0
27	公課費				5,582	5,582	0
28	繰出金				9,065,019	9,065,019	0
99	予備費				100,000	100,000	0
計					127,548,000	127,844,323	296,323

予算額はH26当初予算額 予算科目（細節）に着目して、影響額は平成27年10月からの増税（8% 10%）のため、年間分の1/2として機械的に積算。

負担金補助金及び交付金、扶助費についても、単価を構成する項目の一部等に消費税課税項目が含まれるものもある。

(参考)

消費税引き上げ影響額（歳出）

事業区分別影響額（事業費ベース） 一般会計のみ

（単位：千円）

事業区分	予算額	（割合）	消費税増税後	影響額	影響率
義務的経費					
人件費	13,755,618	10.8%	13,755,618	0	0.00%
公債費	18,696,956	14.7%	18,696,956	0	0.00%
義務的経費	30,268,120	23.7%	30,281,424	13,304	0.04%
施設管理費	10,184,847	8.0%	10,280,272	95,425	0.93%
一般管理費	1,323,715	1.0%	1,336,000	12,285	0.92%
積立金	75,702	0.1%	75,702	0	0.00%
裁量的経費					
裁量的経費A	13,402,683	10.5%	13,422,686	20,003	0.15%
裁量的経費B	2,202,038	1.7%	2,208,851	6,813	0.31%
裁量的経費C	854,990	0.7%	855,729	739	0.09%
投資的経費（補助）	7,114,322	5.6%	7,175,685	61,363	0.86%
投資的経費（単独）	7,194,227	5.6%	7,254,178	59,951	0.83%
喫緊課題対応経費	3,040,239	2.4%	3,063,845	23,606	0.77%
行革対応経費	53,038	0.0%	53,484	446	0.83%
人口減少対策枠	8,150	0.0%	8,188	38	0.46%
繰出金等	19,273,355	15.1%	19,275,704	2,349	0.01%
その他（予備費等）	100,000	0.1%	100,000	0	0.00%
計	127,548,000	100.0%	127,844,323	296,323	0.23%

予算額はH26当初予算額

予算編成イメージ（優先度評価による配分）

ステップ2 施策の方向性を踏まえた予算配分

優先度評価に基づく予算配分は、裁量B事業の前年度予算一般財源に着目して行う。

方向性	マイナス シーリング率	配分率	× 最終配分率
重点配分施策	1.0 (0%)	1.1	1.1
重点調整施策		1.0	1.0
継続取組施策		1.0	1.0
効果検討施策		0.9	0.9

例) 施策1 方向性：重点配分 配分率 1.1 (対前年度) (単位：千円)

	事業区分	配分積算	H26 一般財源	H27 一般財源
事業1	義務	所要額		
事業2	裁量A	既存分に限り所要額		
事業3	裁量B	H26一財×1.0× 1.1	5,000	5,500
事業4	裁量C	別途指示する額以内		
事業5	一般管理	H26一財×0.99	1,000	990
事業6	施設管理	H26一財×0.99	3,000	2,970
事業7	投資的経費	H26一財×0.90	1,000	900
計			10,000	10,360

投資的経費については、市債も対象

方向性が**効果検討**の施策

・配分率は**0.9**

$$\text{H26一財} \times 1.0 \times \mathbf{0.9}$$

方向性が**重点調整・継続取組**の施策

・配分率は**1.0**

$$\text{H26一財} \times 1.0 \times \mathbf{1.0}$$



目標基金残高に必要な歳出抑制額を確保しながら、施策にメリハリを付ける

(単位：百万円)

端数処理による積上げのため計
と一致しない

青森市中期財政計画（平成26年10月計画）

区 分		財政計画期間				財政計画期間外				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
歳 入	市税	35,411	35,812	34,515	33,803	33,995	34,045	33,491	33,537	
	譲与税・交付金	4,469	4,518	4,699	6,681	6,430	6,430	6,430	6,000	
	地方交付税	30,863	28,512	27,744	27,992	27,682	27,560	27,437	27,314	
	国・県支出金	28,783	36,324	32,136	30,453	31,030	32,277	35,511	33,746	
	市債	10,271	14,444	14,626	7,644	7,530	8,747	12,844	8,467	
	その他	9,467	8,208	8,769	7,176	7,367	7,109	6,763	7,127	
	歳入合計	119,264	127,818	122,489	113,749	114,034	116,168	122,476	116,191	
歳 出	義務的経費	66,296	66,768	68,030	67,131	67,916	68,120	68,376	69,676	
		人件費	13,006	12,910	13,313	12,225	11,775	11,492	11,232	11,195
		扶助費	36,580	36,732	37,393	38,161	39,201	40,431	41,896	43,651
		公債費	16,710	17,126	17,324	16,745	16,940	16,197	15,248	14,830
	普通建設事業費	9,422	18,416	16,974	7,537	7,006	8,874	15,019	8,091	
	繰出金	17,636	19,300	19,212	18,125	18,025	18,312	18,151	18,297	
		うち公営企業 ・準公営企業	4,632	4,632	4,659	4,396	4,237	4,140	3,917	3,928
	その他	23,998	22,015	25,818	22,828	22,431	22,422	22,514	22,623	
歳出合計	117,352	126,499	130,034	115,621	115,378	117,728	124,060	118,687		
収入確保と経費節減額				800	800	800	800	800	800	
シーリングによる歳出抑制必要額					25	25	25	25	25	
単年度収支 A = - + +		1,912	1,319	6,745	1,047	519	735	759	1,671	
翌年度繰越金			1,591							
翌年度繰越財源			406							
前年度決算剰余金の1/2以上			800	800						
基金運用益			15	59						
基金残高（前年度末残高+A- - + +）		13,305	13,442	7,556	6,509	5,990	5,255	4,496	2,825	
	うち元気臨時交付金積立分		2,665	全額取崩し						
	その他	13,305	10,777	7,556	6,509	5,990	5,255	4,496	2,825	
市債残高		167,237	167,007	166,857	159,754	152,234	146,610	145,954	141,528	
うち臨時財政対策債		37,487	41,408	44,767	46,380	47,723	48,672	49,292	50,803	

今後の財政運営について

- 今回の10月試算（中期財政見通し）の結果、H27末基金残高は、目標とする65.1億円と同程度であったため、予定どおり、昨年度同様に、管理費と投資的経費の一部を対象にマイナスシーリングを行い、裁量的経費（ソフト事業）についてはゼロシーリングとすることとしました。
- しかしながら、一方で、平成27年度の単年度収支の黒字化に関する目標の達成は、現段階では厳しい状況であり、その傾向は平成28年度以降も続き、平成31年度末の基金残高は、30億円を下回る見込みとなっています。
- また、H26.8月試算でも示したとおり、今後見込まれる変動要素（計画に未計上分）として、操車場跡地利用促進事業をはじめ、豪雪による除排雪経費の増加などがあり、更には、平成27年10月からは消費税率の引き上げ影響（税制改正や社会保障制度改正等含む）も懸念されます。

このような厳しい財政状況下にあっても「市民サービスに可能な限り影響を及ぼさないこと」、「持続可能な財政運営をすること」、この2つを両立させるためには、現計画期間はもとより、次期計画期間においても、より一層の行財政改革の推進に努めるとともに、事業の見直し、選択と集中などにより、効果的・効率的な行財政運営となるよう努めていかなければならないものと考えています。

計画期間内の主な変動要素（計画に未計上分）

- ・ 操車場跡地利用促進事業
- ・ 豪雪による除排雪経費の増加
- ・ 石江土地区画整理地内保留地を売却できなかった場合の財政負担
- ・ H25.7.31付浪岡自治区地域協議会からの意見書への対応
- ・ 子ども子育て支援制度
- ・ 一般最終処分場調査結果
- ・ 社会保障と税の一体改革 など